

平成 26 年度 大阪大学サイクリング部 OB 会幹事会議事録

OB 会 執行部

日 時 平成 26 年 5 月 31 日 (土) 15:00-17:00

場 所 restaurant & cafe QUEENS

出席者 H5 菰田、H5 植松、H6 木下、H8 市村、H9 吉倉、H13 村瀬、H14 高田、H14 今岡、H15 高田、H19 志村、H19 山浦、H21 網野、H21 中本、H21 松本、H21 陶山、H22 青木、H22 山下、H22 渡辺、H22 吉田 (敬称略)

1) 会計報告

『平成 25 年度会計報告 (別紙)』より

<当年度キャッシュフロー>		<当年度損益>	
平成 24 年度繰越金	807,019 円	会費収入	492,000 円
平成 25 年度入金額	689,210 円	寄付金収入	93,000 円
平成 25 年度支払額	▲515,576 円	支出	▲515,576 円
-----		-----	
平成 26 年度への繰越金	980,653 円	終始差額	69,424 円
(預金増減)	173,634 円		

*当年度の会費で支出をカバーできているかを明瞭にするために、会計報告書式を変更。上段左が前納金含めたキャッシュベース、右が収入を当年度会費分のみにしたもの。

○ 会計総括

…会費納入者数と寄付金額の増加により、2 期連続していた赤字を解消。但し、寄付金を除いた当年度会費収入のみでは支出をカバーできず、▲23,573 円の赤字となった。

○ 収入増について

…当年度は会費納入額が増えたが、それでも当年度会費だけでは赤字なので、今後も継続的に収入を維持していく必要がある。既存 OB 会員への呼びかけに加え、これから OB 会に入会する世代からコンスタントに納めてもらう形を作っていく。

○ 支出削減について

…会報作成部数は適切であったかが議論された。会費納入者が増加傾向にあることと、現役部員数が 100 人近いという 2 点を考慮すると、適切であったという結論に至った。

2) OB ラン

開催日：平成 26 年 10 月 4 日 (土)、5 日 (日)

開催場所：愛知県渥美半島

宿泊：大谷屋旅館 (愛知県田原市田原町萱町 80)

世話役：H19 志村

- ・ コース案：250up の TT を朝一に実施、全長 40km (<http://yahoo.jp/lKWi2n>)
- ・ 参加費：12000 円 (予定) *現役生は参加費無料
- ・ 宴会場は 100 人収容可能、持ち込み OK、朝まで OK, 40 人を越えたら宿を分割

<以下、当日指摘事項>

- ・ OB 参加者への「おもてなし」を過剰に意識せず、幹事学年も一緒に楽しんで欲しい。例えば、昨年のように世話役学年の人が班に 1 人いれば、曲り角に人を置く必要もなく、世話役学年も一緒に楽しめると思う。
- ・ 世話役学年は、阪大坂 ML に告知するとともに、詳細を送付原稿に記載すること。
- ・ 詳細には、レンタサイクルの有無の明記をすること。

3) OB ラン現役参加者補助

- ・ H25 年度助成実績は、7 名×8,000 円=56,000 円。
- ・ 上記は OB ラン参加者の返金分から拠出した。OB 会会計は前述の通り、収支いっぱいなので、今後も現役への補助はこの方式を基本とする。

4) 現役活動助成金

- ・ H25 年度助成実績

Europe Tour in 2013 : 4 名×2 万円=8 万円

石垣島ツアー : 4 名×5 千円=2 万円

日本全国一周の旅 (西日本編) : 1 名×1 万円=1 万円

合計 11 万円

5) 阪大坂

- ・ 11 ページの役員名簿に誤りがあった。今後、同様の間違いが起らないように、今後は編集ではなく名簿管理が担当する。
- ・ 昨年、夏の送付原稿をメール便で送ってしまい、住所変更があった時の転送処理がされなかったため、今年度はゆうメールを使うよう、委託業者に念押しすること。

6) 50 周年記念行事

- ・ 40 周年は東京だったので、50 周年は大阪で開催する。
- ・ 時期は 2016 年幹事会后～11 月末頃。OB ランの予定を考慮して決定する。
- ・ 開催地が大阪であり、OB・現役共に出席率が高くなることが予想されるため、想定人数を 200 人に設定する (参考：30 周年は OB60 名、現役 70 名、40 周年は OB 約 80 名、現役 0 名)。
- ・ 現役生の費用負担を極力軽くするため、今年度から 50 周年記念行事に対して寄付を募る。寄付金のお願いは ML と夏の送付原稿で出す。
- ・ 50 周年は大きな節目なので、多くの人を呼んで、盛大に開催する！

以上